

福島市保健所 感染症だより



虫媒介の感染症に注意しましょう！

福島県では、第18週(4/28～5/4)に今年度初めてのつつが虫病発生報告がありました。これからの季節は、蚊やダニが多くなるため、野外活動や農作業、レジャー等で山に行く際には、しっかりと対策をしましょう。

●ダニが媒介する感染症

日本紅斑熱、つつが虫病等

【症状】頭痛や高熱、発疹、刺し口の腫れ等

●蚊が媒介する感染症

日本脳炎、デング熱、ジカウイルス感染症等

【症状】発熱、頭痛、倦怠感等

※妊娠中にジカウイルスに感染すると、先天性障害を持った子どもが生まれる場合があります

予防

●蚊・ダニにかまれないポイント

①肌の露出を少なくする

※**長袖、長ズボン**の着用や足を完全に覆う靴、首にタオルを巻く

②**明るい色**の服を着用する

ディートやイカリジンが含まれるものが良い

③**虫よけ剤**を使用する

※ディートの使用は年齢制限があります

④屋外活動後に入浴をし、**咬まれた跡がないか確認**する。

⑤上着や作業着は**家の中に持ち込まない**

●ダニにかまれた時の対処法

①無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置をしてもらう

②咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状がでた場合は**速やかに医療機関を受診**する

●予防接種も確認！

日本脳炎は子どもの定期予防接種に含まれています

対象 1期:生後6か月以上7歳6か月未満

2期:9歳以上13歳未満



【厚生労働省】
蚊媒介感染症



【厚生労働省】
ダニ媒介感染症



受診時に医師に伝えること
・野外活動の日付や場所
・発症前の行動



【厚生労働省】
日本脳炎ワクチン



百日咳の報告が増加しています

福島県の百日咳報告数が過去最多となりました。福島市も昨年の同時期と比較し報告数が多い状況です。

【特徴】小児が中心で、予防接種前の乳児が感染すると重症になる可能性もあり、家族内の感染に注意が必要

【症状】発作性けいれん性の咳、無呼吸発作、けいれん等

【予防】

・**予防接種が有効**ですが、免疫効果は5～10年程度

・手洗い等の基本的な感染対策の継続



【厚生労働省】
5種混合ワクチン



【厚生労働省】
百日咳

食中毒にご注意ください！

食中毒は年間を通して発生しますが、これからの時期は気温も湿度も高くなり、特に食べ物が傷みやすい季節です。

●食中毒予防の3原則～つけない、増やさない、やっつける～

家庭でできる6つのポイント

1.食品の購入

- ☑消費期限等の表示を確認する
- ☑肉・魚は保冷剤と一緒にもちかえる

3.下準備

- ☑こまめな手洗い
- ☑肉・魚を切ったら包丁等は熱湯をかけ消毒
- ☑タオルやふきんは清潔なものに交換



5.食事

- ☑長時間室温に放置しない
- ☑盛り付けは清潔な食器や器具を使用



2.家庭での保存

- ☑帰ったらすぐ冷蔵庫へ！
- ☑冷蔵庫の中は詰めすぎない
- ☑冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下に設定



【厚生労働省】
家庭での食中毒予防

4.調理

- ☑中心部を75℃で1分以上の加熱
- ☑調理途中な物は冷蔵庫へ



6.残った食品

- ☑怪しいと思ったら捨てる
- ☑温めなおす際には十分に加熱(75℃以上)



保健所と消防本部合同で実践的な研修を行いました！

新たな感染症に備えるため、感染症患者の療養管理・移送研修を実施しました。

●研修の概要

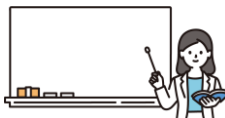
実施日時：令和7年5月21日(水) 午後1時30分～4時00分

実施場所：福島市保健福祉センター

参加者：福島市保健所職員及び消防本部職員

●研修の内容

- ・講話(保健所体制や事例の説明等)
- ・療養についての相談から入院・移送調整の演習
- ・個人防護具の着脱
- ・患者移送乗降演習(屋外)



※詳しくは福島市ホームページへ 「福島市 感染症予防計画」で検索



発行日：令和7年5月30日 発行：福島市保健所 感染症・疾病対策課

住所：〒960-8002 福島県福島市森合町10-1

電話番号：感染症対策係 024-572-3152